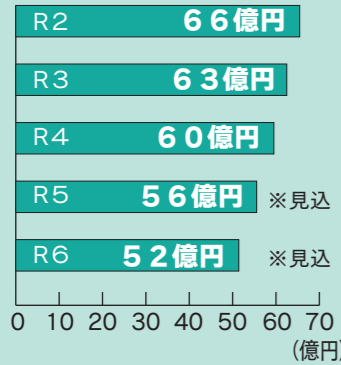


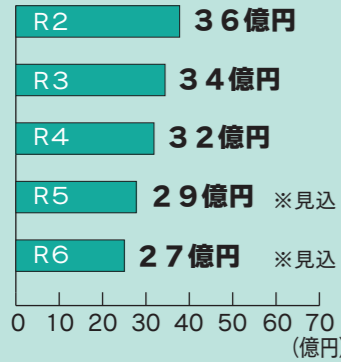
借入金の状況

借入金（地方債）の年度末残高

一般会計



特別会計

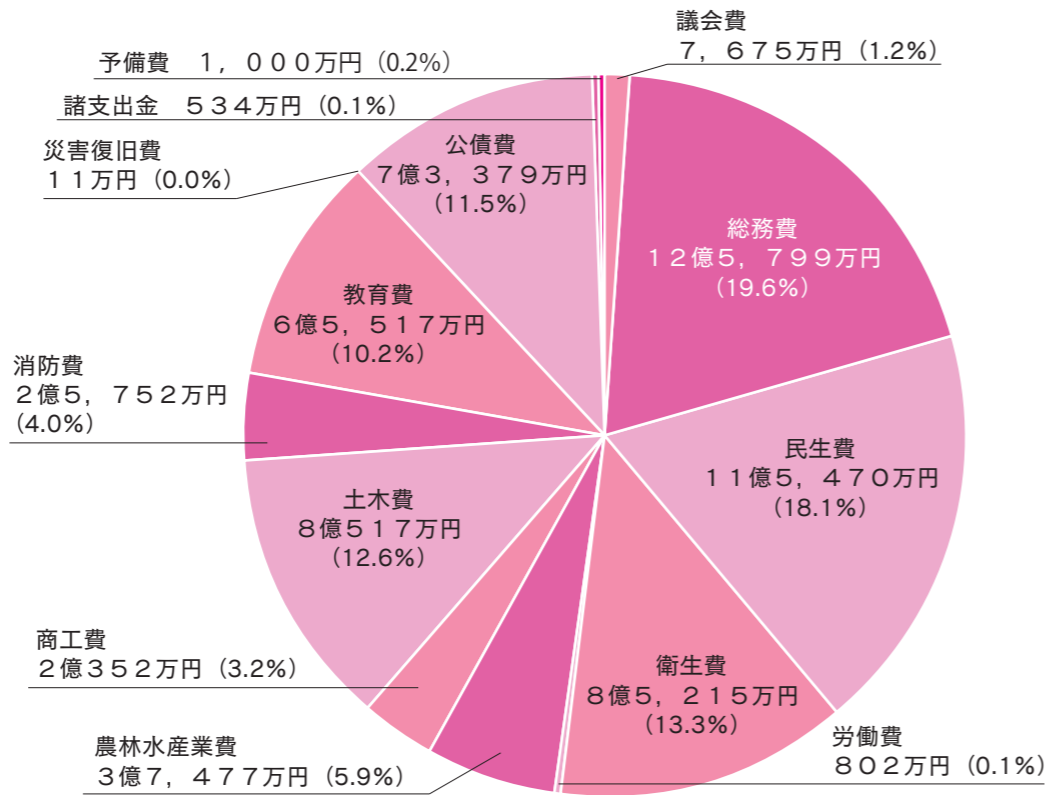


まちの財政指数

※下記の財政指数は見込で算出しています。

項目	令和6年度	令和5年度
実質公債費比率	11.0%	10.5%
公債費負担比率	14.0%	14.5%
経常収支比率	96.0%	96.0%
将来負担比率	35.0%	30.0%

一般会計の歳出

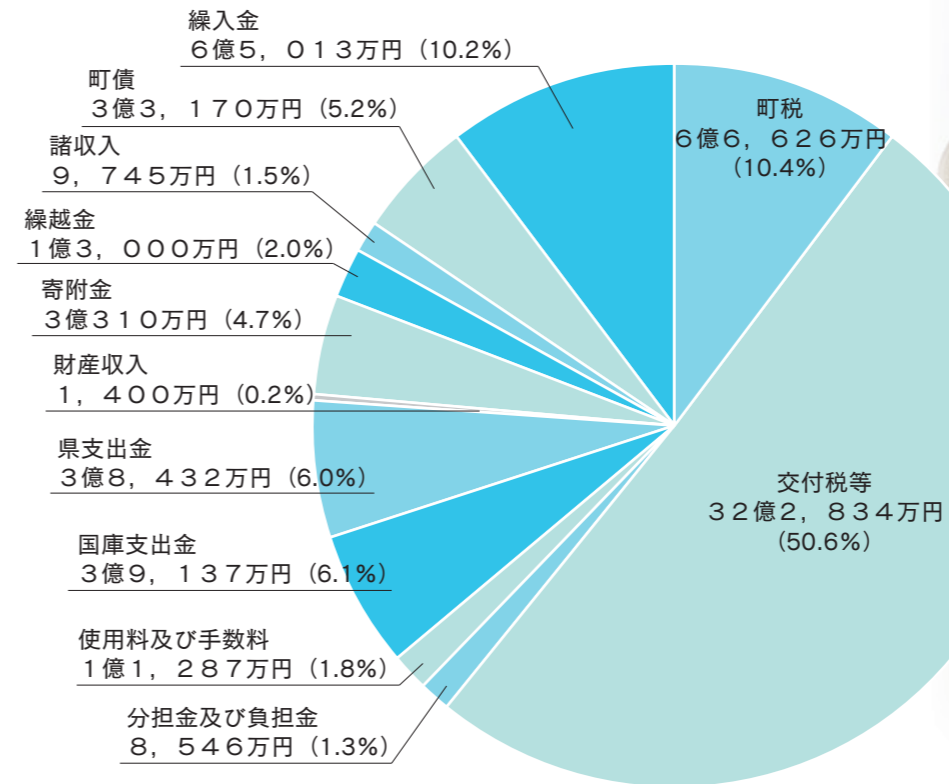


会計別予算額（特別会計を含む）

会計別	令和6年度	令和5年度	増減額
一般会計	63億9,500万円	65億8,500万円	△1億9,000万円
特別会計	49億5,170万円	49億28万円	5,142万円
国民健康保険事業	9億5,600万円	9億5,200万円	400万円
後期高齢者医療事業	1億2,530万円	1億1,000万円	1,530万円
介護保険事業	11億9,800万円	12億200万円	△400万円
最上病院事業	12億7,333万円	13億2,080万円	△4,747万円
介護老人保健施設事業	3億5,745万円	3億5,094万円	651万円
水道事業	4億7,637万円	5億6,298万円	△8,661万円
瀬見温泉管理事業	1,112万円	1,366万円	△254万円
下水道事業	5億5,412万円	2億2,843万円	3億2,569万円
農業集落排水事業	0万円	1,440万円	△1,440万円
浄化槽事業	0万円	1億4,508万円	△1億4,508万円
全会計	113億4,670万円	114億8,528万円	△1億3,858万円

※端数処理の為、数値が一致しない場合があります。

一般会計の歳入



令和6年度 最上町の 予算

町では厳しい財政状況の中、限られた財源を活かし財政運営に努めております。税金をはじめとする大切な財源がどのように活かされるのかご紹介します。

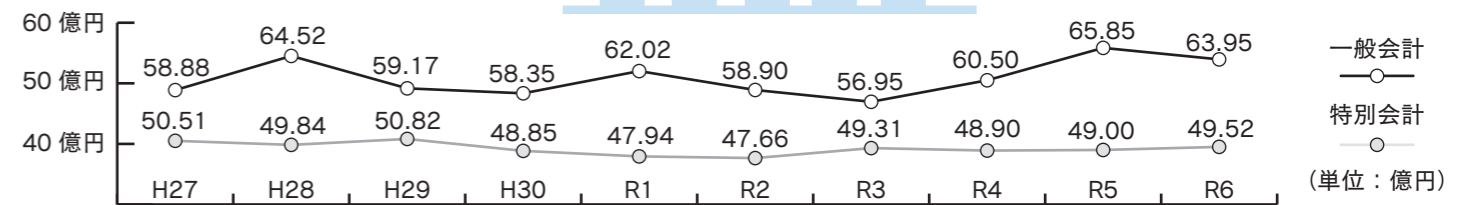
令和6年度 一般会計予算

63億9,500万円

前年度比1億9,000万円減

令和5年度 一般会計予算

65億8,500万円



一般会計の概要

令和6年度の一般会計当初予算総額は63億9千500万円、前年度当初予算に比べ、1億9千900万円の減となりました。

歳入は主に町税、地方交付税が大きな割合を占めており、前年度に比べ町税1.7%減、地方交付税4.2%増となっています。国庫支出金と町債は、「道の駅整備事業」の完了により、前年度に比べ、それぞれ16.3%、18.2%の減となりました。寄附金は、令和5年度の寄附状況を踏まえ、3億円のふるさと納税寄附金をいたただけるよう努めてまいります。

歳出については、総務費はふるさと納税寄附事業の増加により16.1%増、衛生費は下水道の整備や管理が厚生労働省から国土交通省に移管されたことに伴い、水道事業会計への繰入金と土木費としたことにより9.1%減、商工費は「道の駅整備事業」の完了により60.6%減、土木費は上記に加え、「かわまちづくり広場整備」、道路の新設・改良により25.8%増、教育費は「町民体育館解体工事」、「第78回国民スポーツ大会」の完了により16.1%減となりました。

特別会計の概要

特別会計は予算を使用する用途が限定されており、一般会計の歳入歳出予算と区別している会計です。令和6年度より、経営状況を踏まえた確な経営判断を行い、経営基盤の強化を図るため下水道事業、農業集落排水事業、浄化槽事業の会計について公営企業会計を適用させ、会計管理を一つに統合しました。これにより特別会計は10会計から8会計となりました。

令和6年度の特別会計全体の予算は約49.5億円で、前年度と比べて1.0%増となりました。最上病院建設時に借りた地方債の完済や上満沢地区水道管布設替事業の完了により減となったものの、下水道事業の一本化により増となっております。

今後も最小の経費で最大の効果が得られるように、そして町民の皆様にとって、きめ細やかなサービスを提供できるような財政運営を行います。